

問1 欧州連合（EU）では、経済的な結びつきを強めるために共通通貨である「ユーロ」が導入されています。イタリアなどの加盟国において、この共通通貨を使用することの経済的な利点として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 国をまたいで貿易を行う際に、両替の手数料や為替変動のリスクを避けることができる。
2. 加盟国ごとに独自の通貨価値を維持することで、自国の輸出産業を保護できる。
3. 域外の国々からの輸入品に対して、加盟国が独自の関税を自由にかけることができる。
4. ユーロを導入しているすべての国において、商品の販売価格を完全に同一に固定できる。

問2 ロシアの食文化を支える農業の仕組みについて、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。
2. 夏の乾燥に強いブドウやオリーブの栽培を中心に、冬の雨を利用して小麦を栽培する。
3. 広大な土地で牛や羊を放牧し、生乳やバターなどの乳製品の加工・販売に特化して経営を行う。
4. 熱帯の広い農園で、コーヒーやカカオ、天然ゴムなど、輸出を目的とした特定の作物のみを栽培する。

問3 ヨーロッパの航空機産業について、フランス南西部のトゥールーズに本社や最終組み立て工場を置く企業を中心とした生産体制の特徴として、最も適切な説明を選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。
2. 原材料の確保から部品製造、最終組み立てまでのすべての工程を、トゥールーズ周辺の地域のみで完結させている。
3. EU非加盟国からの安価な部品輸入を促進するため、フランス国内の工場はすべて沿岸部の港湾都市に集中している。
4. かつて北東部で産出された鉄鉱石を主な原料として利用するため、現在も内陸の鉱山地帯が航空機生産の全工程を担っている。

問4 ある都市の統計資料において、1月と12月の降水量が比較的多いのにに対し、7月と8月の降水量が極端に少なく、夏に乾燥するグラフのパターンが示されています。このような気候が見られる地域における、生活や産業の背景を説明したものとして正しいものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 夏の乾燥に耐えるため、オリーブのように水分の蒸発を防ぐ工夫が自然に備わった作物の栽培が選ばれている。
2. 冬に雨が多いため、洪水被害を防ぐために住居の床を高くする高床式の住居が一般的である。
3. 夏に降水量が少ないのは、偏西風の影響で海からの湿った空気が一年中遮断されているからである。
4. 夏に農業ができないため、人々はアルプス山脈などの高地へ移動して生活する移牧を主な産業としている。

問5 フランスの穀物生産と貿易に関する状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 高い穀物自給率を背景に、国内で消費しきれない大量の農産物を国際市場へ供給する輸出拠点となっている。
2. 農産物の生産量は多いが、人口規模が大きいため国内消費ですべてを使い切り、輸出に回される分はほとんどない。
3. 小麦などの穀物生産においては輸入への依存度が高まっており、自給率を維持することが国家的な課題となっている。
4. 環境保護の観点から地産地消を徹底しており、食料自給率は高いものの、他国への輸出量は厳しく制限されている。

問6 世界で最も広い国土を持つロシア連邦について、人口は約1億4300万人である一方、面積あたりの人口密度を算出すると1平方キロメートルあたり約8人と、極めて低い数値を示しています。このような特徴を持つロシア連邦から日本へ輸出されている主な品目として、上位を占める鉱産資源の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 三重公立入試 類似）

1. 原油、液化天然ガス、石炭
2. 鉄鉱石、銅、アルミニウム
3. 機械類、自動車、電子部品
4. 小麦、大豆、コーヒー豆

問7 ノルウェーの産業と日本との関わりについて述べた次の文のうち、正しいものを選びなさい。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 暖流の影響を受けた凍らない海を活かしてサバなどの漁業が盛んに行われており、日本へも多く輸出されている。
2. 寒流が流れ込む好漁場を利用してアンチョビ（カタクチイワシの一種）の漁獲に特化し、その大半を日本へ輸出している。
3. 複雑な海岸線のフィヨルドを利用して真珠の養殖を行い、日本の宝飾品市場において最大のシェアを占めている。
4. 冬の厳しい寒さで海が凍ることを利用した氷上漁業が伝統的に行われ、高級魚として日本へ空輸されている。

問8 イタリアなどの南欧諸国において、人口の約8割から9割という圧倒的多数を占めているキリスト教の宗派として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）

1. カトリック
2. プロテスタント
3. 正教会
4. イスラム教

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国をまたいで貿易を行う際に、両替の手数料や為替変動のリスクを避けることができる。	欧州連合（EU）は、加盟国間で人・物・資本・サービスが自由に移動できる共通の市場をつくることを目的としています。共通通貨「ユーロ」の導入により、異なる通貨へ両替する手間や手数料が不要になり、さらに為替相場の変動によって利益が減るリスクもなくなりました。これにより、イタリアなどの加盟国間での貿易や投資がより円滑に行われるようになっています。
問2	答え 1 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。	ロシアの農業は、家畜（肉・酪農）と穀物（小麦・イモ類）の両方を結びつける混合農業が一般的です。これにより、厳しい自然環境の中でも主食とタンパク質源を効率よく確保し、多様な食文化を支えています。
問3	答え 1 ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。	フランスの航空機メーカーであるエアバス社を中心とした航空機産業は、巨大な開発費や高度な技術が必要となるため、ヨーロッパ各国が協力して分業体制を築いています。イギリス、ドイツ、スペインなどの各国で分担して製造された主翼や胴体などの大型部品は、最終的にフランス南西部のトゥールーズに運ばれ、そこで最終的な組み立てが行われます。これにより、一国では困難な大規模プロジェクトを国際協力によって実現しています。
問4	答え 1 夏の乾燥に耐えるため、オリーブのように水分の蒸発を防ぐ工夫が自然に備わった作物の栽培が選ばれている。	地中海沿岸の地域では、夏に亜熱帯高圧帯の影響を受けることで降水量が非常に少なくなります。この厳しい夏の乾燥に適應するため、地中海性気候の地域では古くからオリーブやコルクガシなど、葉や皮が厚く水分の蒸発を抑えられる作物が選ばれてきました。これは、夏に降水量が多くなる日本などの温暖湿潤気候とは対照的な気候的背景に基づいています。
問5	答え 1 高い穀物自給率を背景に、国内で消費しきれない大量の農産物を国際市場へ供給する輸出拠点となっている。	フランスの農業は自給自足の枠を超え、国際的な供給源としての役割を担っています。約6700万トンの生産量に対し、約3700万トンを生産に回しているというデータは、生産の半分以上が外貨獲得や国際貢献に向けられていることを示しています。このように、高い自給率を維持しながら大規模な輸出を行う構造は、フランス農業の国際的な競争力の強さを表しています。
問6	答え 1 原油、液化天然ガス、石炭	ロシア連邦は広大な国土に豊富な地下資源を有しており、日本との貿易においてはエネルギー資源の輸出が中心となっています。特に、原油、液化天然ガス（LNG）、石炭といった化石燃料は、日本のエネルギー供給において重要な位置を占めています。人口密度が1平方キロメートルあたり約8人と低いのは、国土が非常に広大であることや、シベリアなど寒冷で居住が困難な地域を多く含んでいるためです。
問7	答え 1 暖流の影響を受けた凍らない海を活かしてサバなどの漁業が盛んに行われており、日本へも多く輸出されている。	ノルウェーは北大西洋海流（暖流）の影響で不凍港に恵まれており、まき網漁などによるサバの漁獲が非常に盛んです。ノルウェー産のサバは脂が乗っているため日本でも需要が高く、日本のスーパーなどで販売されるサバの主要な輸入元となっています。アンチヨビの漁獲が盛んなのは、南米のペルー（沿岸をペルー海流という寒流が流れる）などの特徴です。
問8	答え 1 カトリック	ヨーロッパのキリスト教分布には地域ごとに明確な特徴があります。イタリア、スペイン、フランスなどの南欧や西欧南部では、歴史的にローマ教皇を最高指導者とするカトリックが根強く信仰されています。これに対し、16世紀の宗教改革の影響を受けた北欧や西欧北部ではプロテスタントが広まりました。イタリアの統計データでは特定の宗教区分が87.4%に達するなど、極めて高い比率を維持しているのが特徴です。